

巻頭 先生なら、どうしますか？

「教頭、それはダメです！」

管理職の私にぶつけてくれた異論のおかげで、皆で最善策を話し合えた

公立・N高校 S先生

2 特集

主体的に学び合う教師集団を
どうつくるか？

4 課題整理 教師に求められる資質・能力は何か。その向上のために学校組織として何をすべきか

6 事例1 東京都・私立かえつ有明中・高校

10 事例2 東京都・私立多摩大学附属聖ヶ丘中学高校

14 事例3 岐阜県立飛騨高山高校

18 学校を超えた実践 「若手教師・教育創造MTG」の取り組み

22 本特集テーマについて管理職、識者と語り合う

東京都立多摩高校 校長 上村礼子 / 株式会社 roku you 代表取締役 下向依梨 /

VIEWnext 編集部 統括責任者 柏木 崇

26 発問・課題設定をキーに見る
主体的・対話的で深い学び 授業実践

数学

東京都立田柄高校 齋藤愛実

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

30 ブラッシュアップ 授業実践

新連載

日本史

栃木県立宇都宮東高校・附属中学校 野澤宏光

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

34 「やらされ探究」から「マイ探究」へ！

新連載

34 探究学習の「やらされ感」はなぜ生まれるのか。
どうすれば自分事化するのか

36 和歌山県立向陽高校

ルーブルックとグランドデザインの策定

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

38 事例で深める！ 学習評価

福岡県立宗像高校

定期考査に偏らない評価の方法

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

40 指導変革の軌跡

福岡県立柏陵高校

スクール・ポリシーの再検討を通じた学校改革

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

44 大学入試トレンド解説

2025年度大学入学共通テストの
振り返りと、今後の指導に向けたポイント

お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

52 Reader's VIEW

<https://view-next.benesse.jp/>

本誌記事は、ウェブサイトVIEWnext ONLINE でもご覧いただけます。

印刷製本／株式会社協同プレス 編集協力／有限会社ベンダコ 執筆協力／二宮良太 撮影協力／

荒川 潤、岸 隆子、福山 哲、ヤマグチイッキ イラスト協力／カモ

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。

※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。 ©Benesse Corporation 2025

2025年度がスタートしました。弊誌の特集は今年度も、答えが1つではない中長期的な課題をテーマとして取り上げるとともに、そのテーマに対する弊誌の見解を、データや事例に基づいて示してまいります。

さて、新年度1号目の本特集のテーマは“教師の学び”です。その具体例として想起されやすいと思われるものの1つに“研修”がありますが、研修と言うと、「研修担当者（講師）から教わる」といったイメージもあり、ともすると受け身になりがちです。そのため、校務が多忙な上、働き方改革も求められている先生方の中には、歯がゆい思いをされている先生も少なくないかもしれません。

一方で変化の激しい今の時代、教師にも学び続けることが一層求められており、2022年12月の中央教育審議会の答申（*）においても、生徒の学びと教師の学びは相似形を成すものであり、生徒と同様、教師にも、「個別最適な学び」と「協働的な学び」とを一体的に充実した「主体的・対話的で深い学び」が求められると示されています。ではどうしたら、そうした教師の学びを実現することができるのか、主体的に学び合う教師集団をつくることができるのか。今号はその問いについて、先生方とともに考えてまいります。

VIEWnext編集部 統括責任者 柏木 崇

主体的に学び合う教師集団を どうつくるか？

P.4 課題整理

教師に求められる資質・能力は何か。

その向上のために学校組織として何をすべきか

P.6 事例1 東京都・私立かえつ有明中・高校

「聴く」ことを大切にしたい安心・安全な場が、
教師の学び合いと挑戦を支える

P.10 事例2 東京都・私立多摩大学附属聖ヶ丘中学校 教師主体の校内研修で対話の重要性を共有し、 自走して改革に取り組む教師集団を形成

P.14 事例3 岐阜県立飛騨高山高校

「自走力」を軸に、教育活動や研修体制を刷新。
教師が得た知見を生かす仕組みを構築

P.18 学校を超えた実践「若手教師・教育創造MTG」の取り組み

若手教師がオンラインで自身が抱える悩みを共有し、
解決策を仲間と模索しながら、自校で実践する

P.22 本特集テーマについて管理職、識者と語り合う

教師同士が互いの言葉に耳を傾け、
異なる価値観、経験に気づくことで、
学校の中でつながっていく

東京都立多摩高校 校長 **上村礼子**

株式会社 roku you 代表取締役、

一般社団法人日本SEL推進協会 代表理事 **下向依梨**

VIEWnext編集部 統括責任者 **柏木 崇**



* 中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）』。

写真 上：東京都立多摩高校（P.25）、
下：東京都・私立かえつ有明中・高校（P.7）

「令和の日本型学校教育」を担う教師、及び教職員集団の姿

教師の姿

- 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている。
- 子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている。
- 子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている。



写真 岐阜県立飛騨高山高校 (P.17)

教職員集団の姿

多様な人材の確保や教師の資質・能力の向上により、質の高い教職員集団が実現し、多様なスタッフ等とチームとなり、校長のリーダーシップの下、家庭や地域と連携しつつ、学校が運営されている。



写真 東京都・私立多摩大学
附属聖ヶ丘中学校 (P.11)

教師の姿の実現に向けて求められる 「新たな教師の学びの姿」

- 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」
- 求められる知識・技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」
- 新たな領域の専門性を身につけるなど、強みを伸ばすための、一人ひとりの教師の個性に即した「個別最適な学び」
- 他者との対話や振り返りの機会を確保した「協働的な学び」

教職員集団の姿の実現に向けて求められる 「多様な専門性を有する 質の高い教職員集団の形成」

- 学校組織のレジリエンスを高めるために、教職員集団の多様性が必要。
- 教師一人ひとりの専門性を高めるとともに、民間企業等の勤務経験のある教師などを取り込むことで、教職員集団の多様性を一層向上させる。
- 学校管理職のリーダーシップの下、心理的安全性の確保、教職員の多様性を配慮したマネジメントを実施。

※中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）」（2022年12月）を基に編集部で作成。

先生方とともに考えたい「問い」

主体的に学ぶ教師の姿、
主体的に学び合う
教師集団は、
どうすれば
実現することができるか。

急 激に変化する時代において、生徒一人ひとりが社会の創り手となるよう、「令和の日本型学校教育」が打ち出された。その教育の担い手である教師に求められる学びの姿として示されたのが、「主体的な姿勢」「継続的な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」だ。学校や教育委員会等が提供する学びを活用しつつ、教師自らが主体的に学ぶことが求められている。

そうして個々に資質・能力を高めた教師から成る学校組織が、集団として力を発揮して生徒を支援していくためには、多様な教師がそれぞれの強みを生かすことができる環境が重要だ。管理職のマネジメントやファシリテーションが今後一層求められると考える。